



がっこう 学校だより

がっこう
12月号



**Challenge
Dream
Interaction**

れいわ ねん がつ にち
令和2年11月30日
よこはま しりつかみい いだしょうがっこう
横浜市立上飯田小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamiida/>

じゅんのう てきおう たいおう ちから 順応・適応・対応する力

こうちやう よこやまよしあき
校長 横山 美明

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防のため、1～3年生については遠足や交通機関を利用し、ての校外学習は中止にしました。4～6年生の宿泊体験学習についても同様の理由で4・5年生は日帰りとし、4年生は愛川ふれあいの村、5年生は猿島（三浦ふれあいの村から変更）に行きました。6年生はこれまでの2泊を1泊にし、片品・日光修学旅行を行いました。関係の教職員も下検分や旅行者との打ち合わせをこれまで以上に丁寧にを行い感染予防に努めました。また、内容面でも見直しを行いました。ただし、子ども達に体験を通した豊かな学びを経験させるために、その教育的なねらいはできるだけ変えないよう配慮もしました。事前に十分に準備をしていたものの、感染予防に努めながらの体験活動ということもあり、学校としても緊張の中での取組ではありませんでした。さらに、保護者の皆様におかれましては、お子様の健康管理に努めていただきました。おかげ様で4・5・6年生の体験学習を無事に終わることができました。ご理解とご協力に感謝いたします。体験学習後の反省会の場では、どの学年の教職員からも「制限のある中で子ども達はよくやっていた」「子どもの成長が見られた」という声が多く聞こえてきました。子ども達の環境に順応する力、適応する力の強さを改めて感じました。私たち大人はこれまでの経験から、しばらく時間が経てばコロナ以前の生活に戻るだろうと、時間が経つにつれ気持ちが緩みがちになる傾向にあります。社会の様子を見ていてもよくわかります。そういった点では、むしろ子ども達の方が国の定めた「新しい生活様式」をしっかりと理解し、実践し、身に付けてきているようです。

現代はいろいろな面で変化の多い時代です。こういった時代にあっては、私たち大人も含めこれらの世界を生きていく子ども達にとっては、順応する力（無意識に環境に慣れる力）・適応する力（意識的に環境に慣れる力）、そして対応する力（環境の変化を受け入れ、能動的に活用・適切に対処していく力）が必要なのではないかと感じています。変化をむやみに恐れるのではなく、抵抗せずに自然に受け入れればいいのだという心構えをもって生活することが大切になってくると思います。大人に比べて子どもの方が柔軟なのでそうした力は強いと思いますが、変化する環境に順応・適応・対応していくには少なからずストレスも伴うので、子ども達には無理のないように、そういった力をつけさせていきたいです。今後も社会的な状況の変化により学校行事等の変更があると思いますが、今年度の体験学習と同様、その教育的意義は変えないようにしていきたいと考えております。保護者の皆様には今後ともご理解とご協力よろしくお願ひいたします。